

# ことう地域チームケア研究会たより

第 11号  
発行平成26年 11月21日



去る11月13日に、第11回目の研究会が開催されました。  
 日時：平成26年11月13日(木) 18:45~20:30  
 会場：くすのきセンター1階研修室  
 参加者：76名（医療関係者25名、福祉関係者27名、行政等24名）  
 今回は、丁子屋薬局の近藤嘉男氏と疋田調剤薬局の疋田州宏氏から話題提供をしていただきました。  
 そのあと、10のグループに分かれて意見交換を行いました。

今回の話題提供は・・・

## 薬にまつわる話 その2



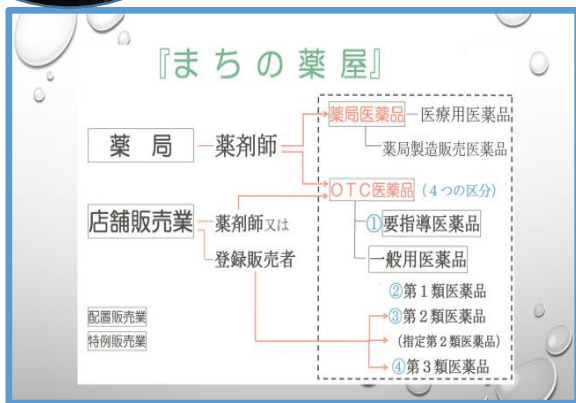
《話題提供その1》

「ご存知ですか？薬のあれこれ」

丁子屋薬局  
近藤嘉男氏



『薬事法について』



《話題提供その2》

「身近なお薬～胃腸薬編～」

疋田調剤薬局 疋田州宏氏



『市販薬の話』

医療用 市販用

いろいろあるけど  
どう違うの？どれ  
を選ばいいの？

- ☆全く同じ成分を含む
- ☆名前が同じでも成分が違う
- ☆市販薬は複合成分を配合している

お薬手帳は大事です！



『便秘薬の話』

便でお悩みの方、多いですね  
 便の薬は種類がいろいろ  
 マグミット：やわらかくする  
 プルセニド：腸を刺激して便を絞り出す  
 レシカルボン：肛門付近の便を押し出す

便 をうまくコントロールしたい

- 下剤と下痢止めを交互に使用しない
- 刺激系は効果が落ちるので、常用しない
- 自覚症状があれば訴えによって処置を変える
- 水分補給をまず先に
- 食事も大きなポイント

そうだ、薬剤師に相談しよう！

- ▷ 利用者さんは本当にお薬を飲めていますか？
- ▷ お薬のことでお困りのことはありませんか？

# 交流会・自己紹介タイム

～感想・自分たちができること・もっと知りたいこと～

- ①利用者さんは本当にお薬を飲めていますか？
- ②お薬の事でお困りのことはありませんか？

## ①薬は飲めていますか？

・100円ショップの薬カレンダーが有効活用できる。家族や支援者も飲めているかどうか見てわかる。  
 ・薬剤師も在宅での生活はわからないので飲めているかわからない。服薬管理、確認するシステムが必要  
 ・薬局としては飲めているか心配。訪問看護、ヘルパー、CMから情報を。薬に関して主治医に言いにくくて続けている人、とりあえず**薬剤師に相談**してください。



・薬を飲めているかだけでなく、薬による状態を伝えられているか？  
 ・認知症、独居の人の薬管理が難しい。看護師やヘルパー等支援者があずかって管理するという方法も。



## ②困っていること

・いろんな病院（他科）にかかっているとそれぞれから内服が出る。どれがどれかわからなく重複している薬もある。かかりつけの薬局を持つようにすることが大切。ばらばらの薬局でもらっても良いが**共通の薬手帳**を持っているといい。重なる薬は後で削除されたりすることで医療費の削減にも  
 ・薬の変更時、廃棄する場合はどうしたらいい？  
 （→個人で行うか、**薬局に相談**。残薬を再利用できることも。）  
 ・薬局への相談の中で危ないと思うこと。栄養ドリンク等は糖分が多く、本人は効いていると思ってしまう。  
 ・お薬情報は便利であるが無くしてしまわれる



・病院等では長期（90日）投与が多い。体調に変化があっても90日待たないといけない。簡単に連絡が取れないか。どこに相談したらいいのか困る  
 （→薬局に連絡してよい。処方元と薬局の連絡先が記載されている。**遠慮せず連絡相談を。**）

## ◇こんな意見も

- ・居宅管理指導の利用できる薬局さんや使い方がわからず、訪問看護を利用している現状
- ・医師から処方された薬をCMが困った時、**薬剤師さんに問い合わせ**をすれば医師に確認してくださることがわかった
- ・薬局の手帳には緊急時の連絡先を記載してある。24時間対応の薬局もあるので確認を。
- ・**疑義照会**という方法がある。
- ・薬が飛び散らないようにする福祉用具や自助具がある
- ・薬の効果までは説明書でわかるがアセスメントして飲めない時の変更などできるのか？薬剤師でないとわからない？
- ・処方箋に服薬管理が必要と指示があれば服薬管理指導できる。
- ・薬剤師さんの**居宅療養管理指導**を利用して多くの情報を得られてよかった。居宅療養指導を利用してると、薬剤師さんが薬以外にもいろんな話を聞いてCMに教えてもらったり医師とのやり取りをしてくれたりして助かる。
- ・居宅療養管理指導料が取れていない人も**気軽に相談**できる場所があればいいと思う



“顔の見える” 関係から  
 “手と手をつなぐ” 関係に！



交流会では他にもたくさんの話題や質問がだされ、「薬の話、続編を！」との声が聞かれました。薬剤師さんとこれから共にできることがいっぱいです！皆様の日々の活動にぜひ活かしてください！

## ご参加ください！ ことう地域チームケア研究会

お知らせメールの登録  
 をお願いします

ことう地域チームケア研究会では、研究会の開催状況や、次回のご案内をメールでお知らせします。ご希望の方は、①お名前 ②ご所属 ③ひとこと をいれて事務局までメール送信してください  
 ☆事務局 (mail) [info@gen-ai-ken-kaigo.jp](mailto:info@gen-ai-ken-kaigo.jp)



次回は…平成27年 1月 15日(木) 18:30~20:30

テーマ：『在宅歯科診療でできること』

会場：くすのきセンター1階研修室

担当団体：彦根歯科医師会

\*申し込み不要、当日会場へお越しください

問い合わせ先：ことう地域チームケア研究会事務局  
 彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 (TEL 49-2455)  
 彦根市健康推進課 (TEL 24-0816)

HP「在宅医療福祉の森」でも研究会のホームページをご覧ください。黄色矢印をクリック